



シンガポール外食企業との県内商談会

県内食品産業のシンガポールにおける販路拡大を目指し、現地よりRE&Sエンタープライズ社および現地日本食レストラン厨（KURIYA）ダイニング、国内の輸出業者RE&Sジャパン社を7月14日～16日の日程で秋田県に招聘し、県産品の製造地視察や個別商談会を開催しました。

RE&S社は本格的な和食から大衆的なレストラン、手打ちそば、焼肉店など18種の日本食レストランをシンガポール、マレーシアで60店舗展開しています。さらに、小売りや貿易取引も行い、現地における日本食の代表的フードビジネス企業です。

今回は主に外食産業向けとして日本酒、食材、調味料、加工食品など期間中に合計約100品目を提案しました。じゅんさいなどの伝統野菜や日本酒については当初から関心があった



商談会

ようですが、実際に秋田を訪ねたことで可能性のある多くの商材に出会うことができ、秋田のイメージが変わったとのことでした。

引き続き当協会では、同社との連携のもと11月に現地レストランや小売店において秋田県産食品プロモーションを予定しており、現地消費者にも広く認知していただけるように積極的に紹介してまいります。

目次:

- シンガポール外食企業との
県内商談会
-伊勢丹シンガポール
バイヤー招聘
-ダイショータイランド
バイヤー招聘 1

- 中国東北部 県産品商談会
-2014 Sakelism 日本酒主義
日本全国 酒・食の祭り
-事務局職員日より
(大野部長) 2

- ベトナム経済交流ミッション
-メロンのロシア輸出に向け
現地商談
-ゼロ秋田との共催による
各種セミナー 3

- 国土交通省で秋田港の
整備促進要望
-あきた海外展開支援
ネットワークポータルサイト
オープン
-10月以降の予定 4



伊勢丹シンガポールバイヤー招聘

9月8日に本年度から新しくバイヤーになられた伊勢丹シンガポール食品統括部長小川雅範氏を招聘し、味噌・醤油の製造工場の視察と商品提案、秋田市内のホテルで7企業が参加した個別商談会では、11月の「伊勢丹シンガポール東北フェア」に向けた提案商品の説明と意見交換が行われました。

味噌・醤油の製造工場視察では、時間と手間をかけた製造方法にバイヤーも興味深々のように。個別商談会では、これまで継続してフェアに参加されている会員企業の人気商品のぶどうジュース、稲庭うどん、菓子類と新商品の加工食品に加え、今回初めて提案した4会員の男鹿のしょつるやきそば、菓子類、加工食品、いぶりがっこなど限られた時間の中での商品説明の結果、各会員企業の熱意が小川食品統括部長に伝わり、大変充実した個別商談会ができたと思います。

今後は、出展者と伊勢丹シンガポールと連携を密にとり、東北フェアでの秋田県産品のPRをして定番化商品に向けた売上増加を目指して販路拡大を図っていききたいと思います。



商談会



味噌・醤油製造工場視察



ダイショータイランドバイヤー招聘

9月14日～17日の4日間、ダイショータイランド部長代理幅野修平氏を招聘し、14日～16日には秋田市内のスーパー、物産館等の視察、りんご園場や味噌・醤油の製造工場の視察と商談が行われました。17日に秋田市内のホテルで7業者が参加した個別商談会では、11月の「バンコク伊勢丹東北フェア」に向けた商品提案と意見交換が行われました。



産地訪問による
商談

りんご園場では、天候が良かったことから、平年より7日間程早い生育で推移していました。味噌・醤油の企業訪問では、毎年フェアで販売される既存商品の他に新商品の提案もされました。個別商談会では、各企業の商品提案について意見交換が行われ、秋田県産品でのコラボによる実演販売等、フェアでの展開イメージが見えてきた商談会となりました。今後は、フェアまでの期間にバイヤーとの連携を図りながら、現地フェア支援スタッフとともに、秋田県産品の売上げ増加に繋がるように取り進めていきたいと思います。



りんご園場視察

中国東北部 県産品商談会

8月2日～3日の2日間、発展著しい中国瀋陽市、瀋陽久光百貨店において、秋田県の酒造メーカー・加工食品業者が参加して、今後の継続的な輸出拡大を目指すために「中国東北部 県産品商談会」を実施しました。

今回の販促活動は、食品売場地下1階で日本酒・りんごジュースの試飲、稲庭うどんの試食を実施しました。

今回出品した日本酒は、地下食品売場の日本酒コーナーにも陳列されていましたが、中国は白酒がまだ主流となっているため、試飲しても白酒と比べて少し味が薄いとの評価と、酒の関税、輸送費、通関税の手数料等が価格に折り込まれているため価格高で、一般消費者が試飲をしても即購入に繋がらない状況でした。

りんごジュースは、日本酒に比べ値頃感とまろやかな味のため好評でした。

稲庭うどんは、滑らかな喉越し感のため、初めて試食する一般消費者からも好評でした。

今後は、秋田県の日本酒、りんごジュース、稲庭うどんの良さをもっと知っていただくために、マネキンを投入した試飲・試食の実施や、現地の間屋がホテルや日本食レストランへ商品を納めながら広めていく必要があると感じました。

また、知名度を高め、瀋陽での販路拡大・輸出量増加を目指すために現地との情報交換を密にしなが、会員と輸出業者が更なる連携を図りながら取り進めていきたいと思ひます。



久光百貨店での試飲・試食活動



瀋陽久光百貨店

2014 Sakelism 日本酒主義 日本全国 酒・食の祭り



Sakelism 受付

9月6日～7日の2日間、台湾・台北市において、「2014 Sakelism 日本酒主義 日本全国 酒・食の祭り」に参加しました。

本事業は、秋田市からの委託事業として昨年に引き続き当協会が業務を受け、秋田の酒や食材の輸出に向けたPR活動のため実施しました。イベントでは日本全国の日本酒が出品され、秋田からは㈱フルールとオフィス輪の2社に参加頂きました。

昨年のSakelism成功で前評判も高く、会場は日々大盛況でした。秋田ブースも日本酒の試飲や秋田食材の試食で、現地の方々から本当に美味しいと大好評でした。

世界一の親日国と言われる台湾での、日本酒や日本食材のマーケット拡大の可能性は大きいと考えます。イベントや事後の商談を通して、現地企業の意見や要望を直接聞くことができ、今後の台湾事業展開に関して大きなステップになりました。



秋田ブース

事務局職員だより

今年の4月にJA全農あきたより当協会に配属になり、早いもので6ヶ月が経過致しました。JA全農あきたでは、園芸・米穀の販売推進業務に携わり、当協会では前任者に引き続き、農林水産省の「農林水産物等輸出支援事業」を担当致します。

TPP関係では予断を許さない状況が続いておりますが、海外での日本産食材に対する評価の高まりを背景に農産物・加工食品の輸出、輸出相手国の事情にあわせた多様な取り組みのために秋田県フェアやバイヤー招聘などを会員、秋田県と連携・実施してまいります。

担当になってからの経験も浅いため、これから多くの経験を積み、会員皆様の県産農林水産物や多様な加工食品を海外のお客様に積極的にアピール・セールスし、販路拡大や事業に少しでも貢献できるように努めてまいりますので、今後とも皆様からのご指導・ご協力をお願い申し上げます。

農産物販売促進部 部長 大野 博之





ベトナム経済交流ミッション

7月26日～8月2日の8日間、秋田県・北都銀行・当協会の主催で、県内企業の拡大を図るため、成長を続けるベトナムへ経済交流ミッションが派遣されました。

佐竹知事を団長に、北都銀行齊藤頭取、当協会の齊藤会長・大島副会長・児玉副会長、秋田県信用保証協会の小林会長等々35名が参加しました。一行は、秋田県関連企業・工業団地・職業訓練専門学校の見学、現地ショッピングモール視察、ヴィンフック省やヒンズオン省を訪問しました。またホテルニッコーハノイで知事主催の秋田レセプションを開催し、県の観光PRを行い、ベトナム政府機関や現地企業の方々との交流が図られました。フィデアHDと業務提携先のベトコム銀行では同行CEO等とも意見交換し、秋田との関係を一層強固にすることを話し合いました。



秋田レセプション(佐竹知事、齊藤会長 他)



齊藤会長とヒンズオン省人民委員長

勤勉な若い労働力を持ち、日本に対するリスペクトが高いベトナムを直接感じ取ることが出来た本ミッションは、秋田県の海外市場展開の大きな足がかりとなりました。



メロンのロシア輸出に向け現地商談



選果所にて各メロンの確認

8月1日、センコン物流株式会社(仙台市)の谷田部国際営業課長、門間参与が来県、JA秋田みなみ農協とメロンの選果場を訪問し、メロンのロシア・ウラジオストク輸出に向け現地商談を実施しました。

当協会武田専務、JA全農あきた南本調査役が同席、輸出の可能性について検討し、糖度が15度以上の秋田美人メロンやレノンメロン、アムスメロンを確認され、ウラジオストクの消費者が購入しやすい規格(良2L、LA)のメロンに関心を示されました。

来年度の取引の実現を目指すこととし、収穫後の賞味期限から、より有利な航空便による輸出も可能と提案されたほか、和梨の輸出についても今後協議をしてみたいです。

ジェトロ秋田との共催による各種セミナー

8月29日

「農林水産物・食品」輸出商談スキルセミナー
～食品輸出の基礎知識と商談スキル～

講師：ジェトロ大阪本部アドバイザー 安田憲世氏

9月4日

「海外市場開拓における知財保護・戦略」セミナー
～アジア市場における商標及び開発製品の保護～

講師：ジェトロ知的財産アドバイザー 横山方一氏

9月29日

「オーストラリア食品市場
開拓セミナー」

講師：ジェトロシドニー事務所農林水産・食品
コーディネーター
守屋太郎氏

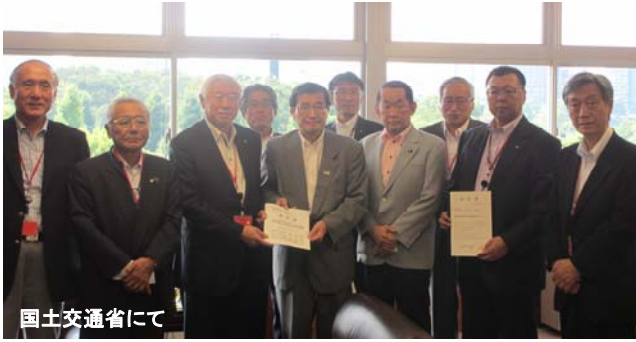
※なお、講演内容については協会事務局、またはジェトロ秋田へお問い合わせください。



各セミナー会場(県庁第2庁舎)



国土交通省で秋田港の整備促進要望



8月21日、当協会齊藤会長は、秋田商工会議所三浦会頭、秋田みなと振興会矢吹会長とともに、国土交通省へ秋田港の整備促進を要望しました。

国土交通省の本田勝事務次官へ「環日本海交流の推進による地域発展と国土強靱化に向けた秋田港の機能強化と津波対策について」要望書を提出し、秋田港コンテナヤードと秋田自動車道を結ぶアクセス道路の早期整備、国際コンテナターミナルの岸壁の延伸等の更なる機能強化等について要望しました。本田事務次官は、必要な社会資本整備を行う旨、述べられました。

「あきた海外展開支援ネットワーク」ポータルサイトオープン

10月1日、「あきた海外展開支援ネットワーク」は市場開拓や現地販売拠点の設置といった海外展開に取り組む県内企業を対象に、国や県、金融機関等の支援施策などをはじめ、様々な内容を掲載したポータルサイトを開設しました。

これから海外展開への進出を検討されている方に、充実した内容となっております。

主なコンテンツ

- ① セミナー・商談会・経済ミッション等の情報配信
- ② 各支援機関の持つ各種支援施策を紹介（※）
- ③ 秋田県内企業の海外展開事例を紹介
- ④ 相談フォームから随時、問い合わせが可能 など

URL : <http://www.akita-kaigaitenkai.jp>

※本サイトはパソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末からも閲覧可能となっておりますので、是非ご活用ください。



QRコード :



トップ



支援施策（※）

10月以降の予定

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ◎ ロシアバイヤー招聘
期間：2014年10月7日～11日
場所：県内 ◎ 海外バイヤーとの交流会
期間：2014年10月10日
場所：秋田ビューホテル ◎ 台湾・フィリピン経済交流ミッション（共催：秋田銀行、秋田県）
期間：2014年10月19日～25日
場所：台湾、フィリピン ◎ 韓国経済交流・商談会
期間：2014年11月中旬
場所：県内 ◎ 秋田県・延邊州・沿海地方3カ国経済交流会議
期間：2014年11月27日～11月29日
場所：秋田市内 | <ul style="list-style-type: none"> ◎ 東北フェア（シンガポール）
期間：2014年11月27日～12月7日
場所：伊勢丹シンガポール ◎ 北東北フェア（タイ）
期間：2014年11月27日～12月7日
場所：バンコク伊勢丹 ◎ シンガポール外食企業との県内商談会フォローアップ
期間：2014年11月28日～30日
場所：シンガポール ◎ マレーシアバイヤー招聘
期間：2014年11月下旬
場所：県内 ◎ マレーシア経済ミッション派遣
期間：2015年1月
場所：マレーシア（クアラルンプール） |
|---|---|

※事業の詳細については、当協会までご連絡なくお問い合わせください。

NEWS LETTER 第30号

あなたの貿易ビジネスをサポート!



一般社団法人
秋田県貿易促進協

ホームページも

ぜひご覧ください↓

<http://www.a-trade.or.jp/>

秋田市旭北錦町1番47号

秋田県商会館5階

電話：018(896)7366

FAX：018(896)7367

Email：info@a-trade.or.jp